

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成21年12月2日

化学物質等のコード : 0429-9122

化学物質等の名称 : 2,5-ジニトロフェノール

2.危険有害性の要約

分類の名称: 自己反応性物質、急性毒性物質  
危険性: 強熱、強い衝撃摩擦により爆発的に分解、発火または爆発する危険がある。  
有害性: 眼に入ると粘膜を刺激し、白内障を起こす恐れがある。吸入した場合、粘膜を強く刺激し、急激に頭痛、発熱、脱力感、嘔吐、呼吸困難、肺水腫を起こし、死亡することがある。経口摂取すると腹痛、下痢、痙攣、血尿、蛋白尿などを生じ肝臓、腎臓障害を起こし、死亡することがある。皮膚に接触すると強く刺激し発赤、水泡を生じる。皮膚吸収あり。  
環境影響: -----

3.組成、成分情報

化学名 2,5-ジニトロフェノール 別名: -ジニトロフェノール  
含有量 99.0 %  
化学式・分子量 (NO<sub>2</sub>)<sub>2</sub>C<sub>6</sub>H<sub>3</sub>OH = 184.11  
化審法公示番号 設定されていない  
CAS No.329-71-5

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、医師の手当を受ける。  
皮膚に付いた場合 : 付着部又は接触部を20%のアルコール溶液でよく拭き、石けん水と水でよく洗い流して医師の手当を受ける。  
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、2%重曹水でうがいをさせ、安静保温に努め、医師の手当を受ける。  
誤飲した場合 : 直ちに100mlの流動パラフィンを飲ませ、温湯又は2%チオ硫酸ソーダで胃洗浄を行い、活性炭を与えた後、硫酸マグネシウムを飲ませ医師の手当てを受ける。

5.火災時の処置

消火方法: 火元への燃焼源を断ち、大量の水で一挙に消火する。又、延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク、建物の冷却をする。移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。消火作業は必ず保護具を着用し、注水は安全な距離を確保し、遮蔽物を利用して行う。  
消火剤: 大量の水

6.漏出時の措置

火気厳禁とし、通気換気を充分に行い漏出物を湿らせて掃き取り空容器に回収しそのあと界面活性剤を撒いて多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。  
この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い  
・火気厳禁とし、高温物、スパーク、強い衝撃摩擦を避け、強酸化剤との接触をさける。  
・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用しできるだけ風上から作業する。  
・容器を密封しまたは局所排気装置を設置する。  
・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

保管

- ・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- ・ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
- ・その他、毒物劇物取締法、消防法に定めるところに従う。

---

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 作業環境評価基準；設定されていない  
許容濃度 日本産業衛生学会勧告値；設定されていない  
ACGIH (TLV)；設定されていない  
OSHA (PEL)；設定されていない

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
- ・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

防塵マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴

---

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 黄色の結晶～粉末 蒸気密度 6.4 (空気 = 1)  
臭気 フェノール臭  
蒸気圧 データなし  
沸点 データなし  
比重 データなし  
融点 105～108  
溶解度 水、エタノールに難溶、エーテルに易溶。

---

10. 安定性及び反応性

- 引火点 データなし  
爆発範囲 データなし  
発火点 データなし  
安定性・反応性 安定。熱せられると爆発の危険性がある。

---

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

- 急性毒性 腹腔-ラット LD50 : 150mg/kg 腹腔-1 ♀ LD0 : 100mg/kg  
刺激性 データなし  
変異原性 データなし  
がん原性 データなし  
慢性毒性 肝・腎障害の他、眼球の白内障をきたす04 -2569

---

12. 環境影響情報

- 魚毒性 データなし  
分配係数 データなし

---

13. 廃棄上の注意

焼却法

- ・炭酸水素ナトリウムと混合したものを小量ずつ紙などで包み開放状態で焼却する。
- ・大過剰の可燃性溶剤に溶解しアフターバーナー及びスクラパーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

---

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。  
輸送に関する国際規制

国連分類 : 4.1(可燃性固体) 副次危険 6.1(毒物) 等級  
国連番号 : 1320  
(ジニトロフェノール(15質量%以上の水で湿性としたもの))

---

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 非該当  
化学物質管理促進法(PRTR法) 非該当  
毒物及び劇物取締法 毒物 包装等級2  
消防法 危険物第5類ニトロ化合物含有物第2種自己反応性物質  
危険等級2 (100kg)  
危規則 第3条危険物告示別表第6可燃性物質  
航空法 施行規則第194条危険物告示別表第4可燃性固体  
港則法 施行規則第12条危険物告示可燃性物質  
海洋汚染防止法 海洋汚染物質(P物質)

## 16.その他の情報

### 参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。